

令和6年度 全国学力・学習状況調査結果に基づく学力向上の取組について

令和7年2月 湯河原町教育委員会

教育委員会では、町内小中学校とともに検証委員会を設置し、令和6年4月に行われました本調査の結果を分析しました。分析の概要をお知らせするとともに、それを踏まえた学力向上の取組にご理解とご協力をお願いします。

〈参加児童・生徒〉

町立小学校6年生（116人） 町立中学校3年生（116人）

〈調査内容〉

教科に関する調査 【小学校】国語、算数 【中学校】国語、数学

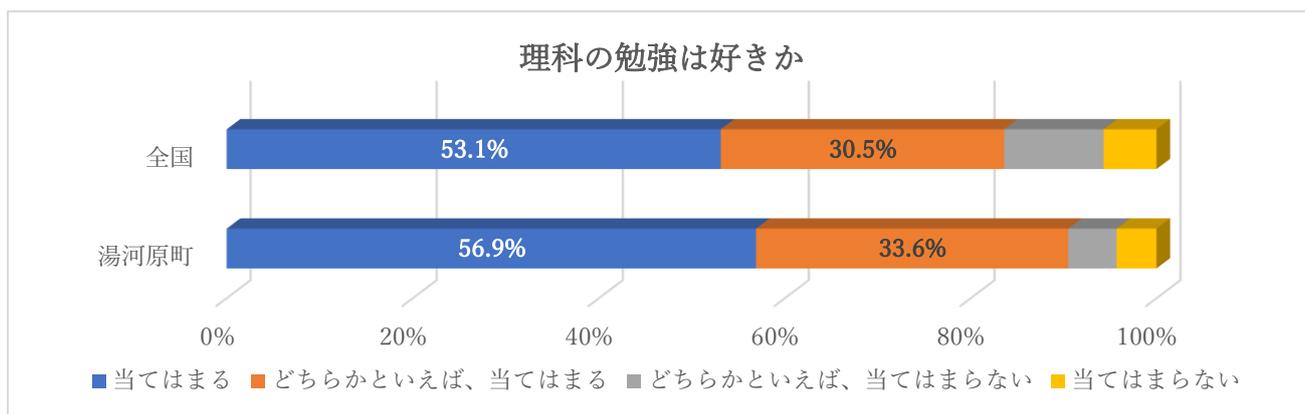
質問紙調査 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

子どもたちのよさ

《教科について》

（小学校）

- ・国語において、「情報の扱い方に関する事項」と「我が国の言語文化に関する事項」の領域の問題は、おおむね全国平均に達している。また、「話すこと・聞くこと」と「書くこと」の領域の問題もほぼ全国平均に近い数値である。
- ・『理科の勉強は好きか』の問いに、「当てはまる」と答えた児童の割合は56.9%、全国平均53.1%より4.8%高い。「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合も本町は90.5%で、全国平均83.6%より6.9%高い。本町の児童が理科の勉強に意欲的なことが分かる。



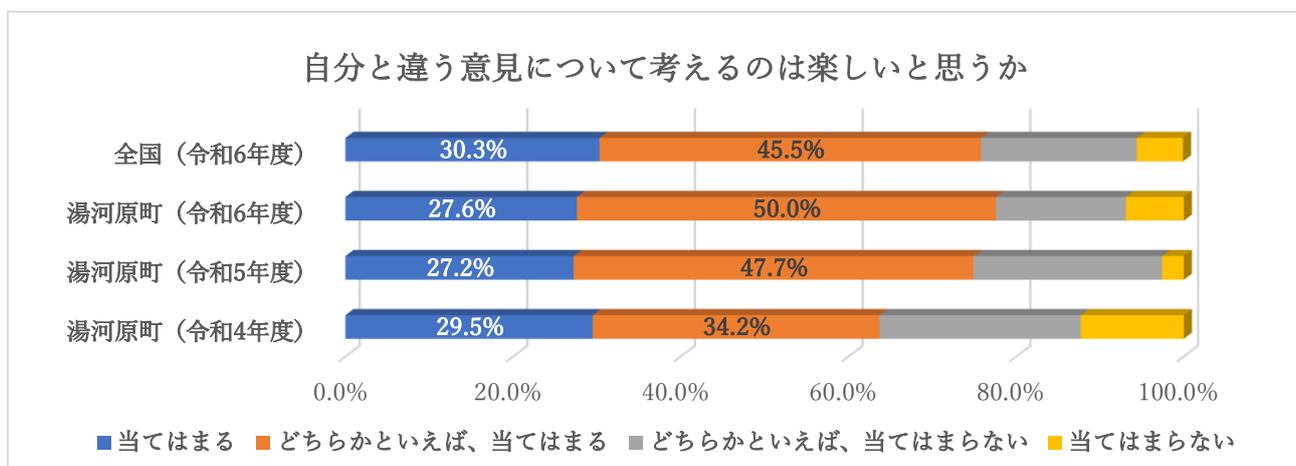
（中学校）

- ・国語において「話すこと・聞くこと」と「読むこと」の領域の問題の正答率は全国平均とほぼ同等の値を示した。

《学び全般について》

(小学校)

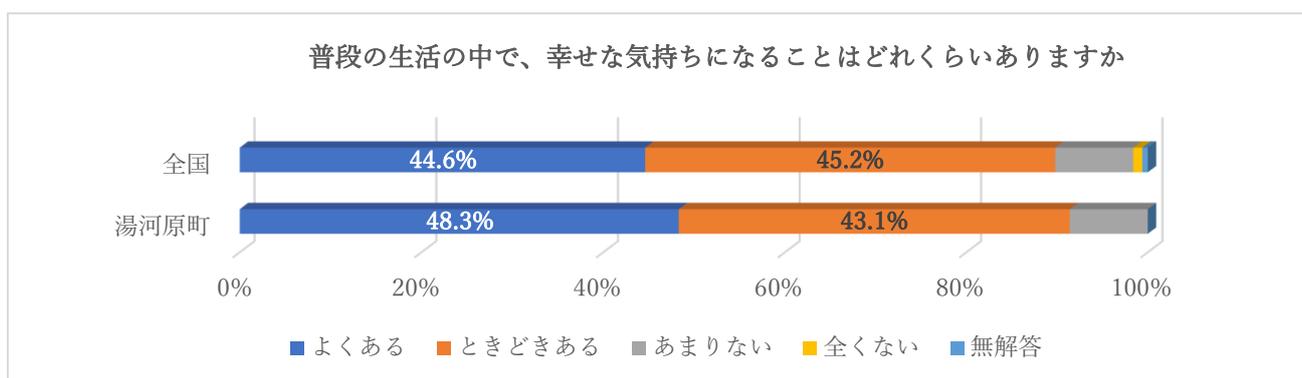
- 『自分と違う意見について考えるのは楽しいと思うか』の問いに、「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童の割合は3年連続増加し、令和6年度は全国平均75.8%より1.8%高い数値を示した。



- 『授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思うか』の問いに、「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童の割合は、国語・算数ともに全国平均に近い数値である。

(中学校)

- 『学校に行くのは楽しいと思いますか』の問いに、「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と答えた生徒の合算割合は83.6%、全国平均83.8%と同等の数値だった。
- 『普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか』の問いに、「よくある」、「ときどきある」と答えた生徒の割合は91.4%で、全国平均89.8%より1.6%高い。



- 『いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか』との問いに、「当てはまる」、「どちらかという、当てはまる」と答えた生徒の割合は98.3%で全国平均95.7%を上回った。

子どもたちの課題

《教科について》

(小学校)

- ・国語において、「読むこと」「言語の特徴や使い方に関する事項」の領域の問題に課題がみられる。

(中学校)

- ・国語において、「書くこと」の領域の問題の正答率が全国平均を下回り、課題がみられる。
- ・数学において、「関数」に関する問題以外の3区分「数と式」「図形」「データの活用」の正答率が全国平均を下回り、課題がみられる。

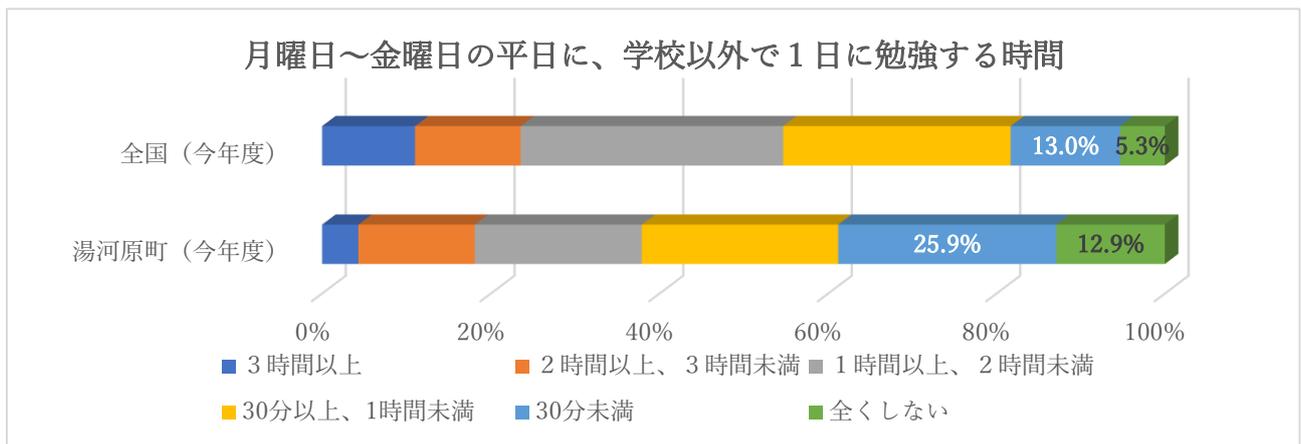
(小・中学校)

- ・昨年度と同様に、全国平均と比較して無解答率が高い。特に記述式の解答に対する無回答率が高く、問題文をしっかりと読み取り、自分の考えを的確に表現する力の育成が望まれる。

《学び全般について》

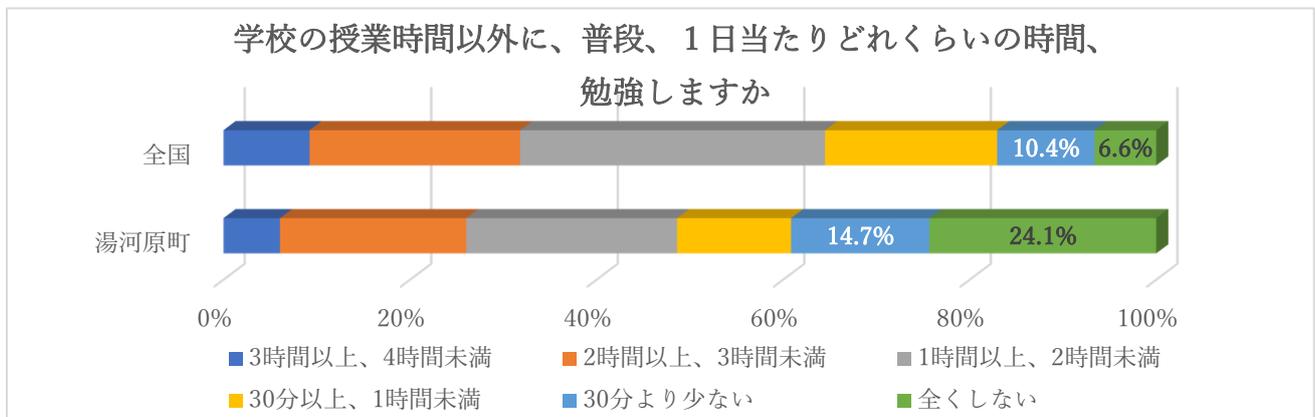
(小学校)

- ・『平日・休日の1日に勉強する時間』を問う質問に、「30分より少ない」、「全くしない」の割合が、全国平均を大きく上回った。家庭での学習時間が少なく、家庭学習習慣の定着が望まれる。



(中学校)

- ・『学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか』の問いに、「全くしない」と答えた生徒の割合は24.1%、全国平均6.6%の約4倍、「全くしない」、「30分より少ない」の割合は38.8%で、全国平均17.0%の約2倍の数値を示した。学習時間の確保が必要である。



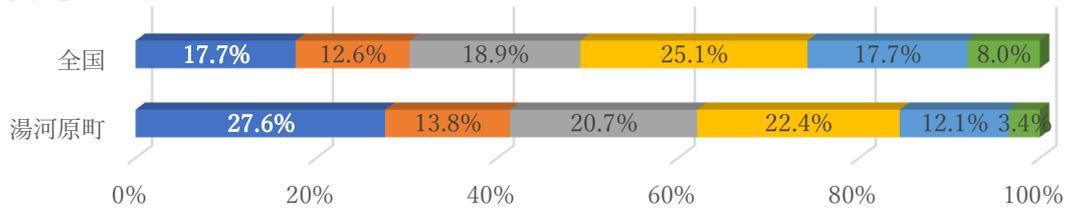
(小・中学校)

- 『普段、テレビゲーム（PC ゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話スマートフォンを使ったゲームも含む）を1日にする時間』の問いで、「4時間以上」と答えた本町児童は27.6%で全国平均の17.7%の1.5倍、生徒は31.9%で全国平均16.6%の約2倍の数値を示した。本町児童生徒のゲームに係る時間は、全国と比較してかなり大きな割合を示した。

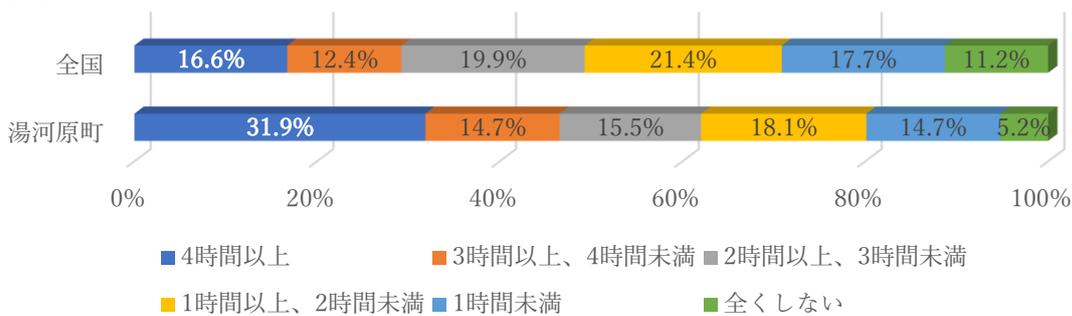
また、SNS や動画視聴をする時間も、全国平均を大きく上回った。

普段、テレビゲーム（PC ゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話スマートフォンを使ったゲームも含む）を1日にする時間』

【小学校】

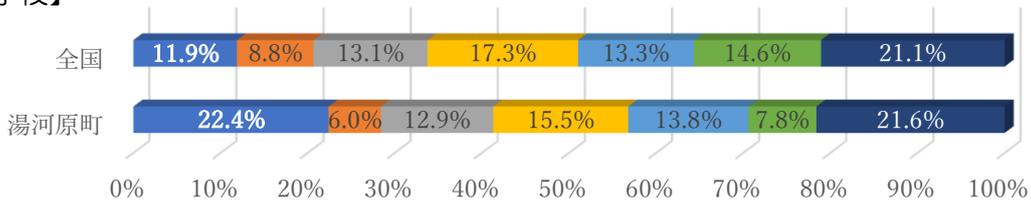


【中学校】

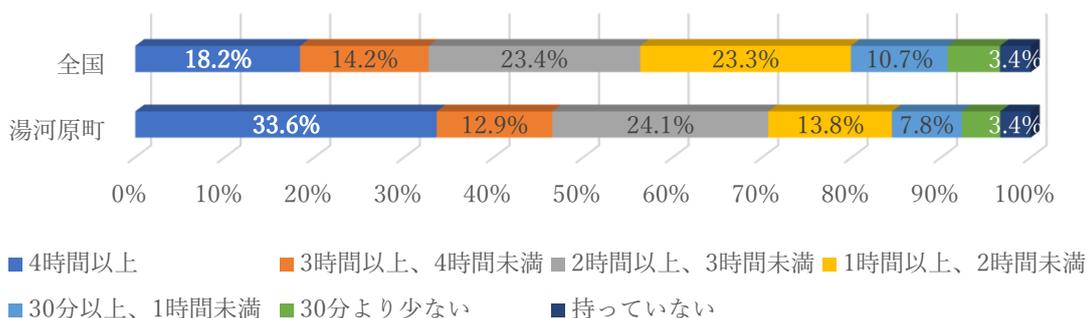


普段（月曜日から金曜日）、1日に携帯電話やスマートフォンでSNS や動画視聴（機器を利用して学習する時間やゲームをする時間は除く）などをする時間

【小学校】



【中学校】



学校の指導充実のポイント

以上の分析をもとに、学校における指導充実のポイントをまとめました。それぞれの学校では、これらのポイントを踏まえて、さらに児童生徒の状況に合わせて指導の充実に取り組みます。

◆計画的に学習等に取り組む姿勢を育む。

→学習の計画性が身につけている児童生徒ほど学習が定着している傾向があります。家庭学習やテスト週間の学習を計画的に行うことで、自らの学びをデザインする力を育みます。

◆複数の解法や他者の意見に興味を示す姿勢を育む。(多様性の理解と認知)

→「他の解き方はないかな？」と他者の意見を尊重しながら協働することで、学びの理解が深まります。正答だけを導くのではなく、様々な思考をはたらかせながら、多様性を認められる授業を構築します。

◆教科を学習する目的や意義を理解させる。

→教科の学習が社会でどのように活用できるのか、学習の目標や意義を理解することが学習の意欲につながります。児童生徒が必要感をもって取り組める授業を実践します。

◆読む力を育む

→動画等に触れる機会が増え、活字から情報を得る経験が減っています。授業だけでなく、豊富な書籍を有する図書室や小学生の電子書籍を活用し、読書を推進することで、文章の意味を正確に読み取る力を育みます。

保護者の皆様へお願い

子どもたちには、『学んで成長しよう』とする思いがあります。

このことを大切に、現在の学年の学習に限らず、将来にわたりお子様の学習が充実し、健やかに成長されるよう、次のことをお願いします。



♥ 湯河原町の児童生徒の家庭学習の時間は全国平均を大きく下回ります。一方、家庭内でテレビゲームをする時間とスマートフォン等で SNS や動画を視聴する時間は全国平均を上回ります。スマートフォン等の利用のルールを話し合い、お子様が自主的に学習できる時間を確保してください。また、各学校の家庭学習に対する取り組みに、是非ご協力ください。教育委員会からも、毎年4月に各学年に応じた「家庭学習のすすめ」を配布しています。家庭での学習のめやすにしてください。

♥ 湯河原町内の小中学校は書籍がとても充実しています。また、小学生は電子書籍がタブレットから閲覧できます。自分が子どものころ夢中になった本を勧めたり、今、お子様が読んでいる本を話題にしたりすることで、読書への意欲が向上し、習慣化につながります。

♥ テストの点数や成績などの『結果』に対して誉めたり叱ったりするより、日頃の学習の様子を見守り、「〇〇をよくやっているね。」など、お子さんの『取り組み』や『努力』に関する前向きな言葉をかけることが「学ぶ意欲」や「粘り強く取り組む姿勢」を育みます。

♥ 家族や仲間と一緒に、生活体験や自然体験を行い、その時の喜怒哀楽といった感情を共有しましょう。また、様々な体験活動を通じて、異年齢と積極的に関わり様々な価値観に触れ、多様性について理解し、認められる姿勢を育ててください。

♥ 日ごろの会話を通して、順序よく筋道立てて話すなど、表現力を伸ばすようにしましょう。自分の思いや考えを話す機会を作るよう「あなたはどう思う?」「それでどうなった?」などの問いかけをしましょう。さらに、自分の思いや考えを日記などに書くことを勧めましょう。